

11月1日奥出雲消防署の高規格救急車更新



この救急車は、旧車両に比べ、救急救命士などが処置を効率的に行えるよう広い室内空間を有すると共に各種資器材の配置を使用しやすいように見直し、最先端の救急医療資器材を積載しました。

登山者へのお願い

雲南消防本部管内には、県境にそびえ立つ標高1000m級の山々があり、秋の登山シーズンには多くの登山者でにぎわっています。

近年の登山ブームで、軽装備者の登山者の遭難や滑落事故が発生していますので細心の注意をお願いします。



登山前に確認

長袖シャツ、上着、長ズボン、帽子、底の厚い履き馴れた靴（くるぶしの隠れる靴）、雨具、防寒具、着替え、水筒（1人1リットル程度の飲料水は用意する）、懐中電灯、手袋、ごみ袋、非常食、タオル、携帯電話など必要なものを携行する

中・高校生職場体験

- 8月30日・31日、奥出雲町立仁多中学校（2年生2名）
- 9月28日・29日、飯南町立頼原中学校（2年生2名、3年生1名）
- 9月26日～28日、雲南市立大東・加茂・掛合中学校（2年生4名）
- 10月11日～13日、飯南高校（2年生2名）
- 10月12日～14日、三刀屋高校（1年生4名）

の生徒が来署し、職場体験を実施しました。この職場体験では、消防の組織・業務を学習するとともに、普通救命講習、放水訓練、救助訓練といった実技訓練をしました。将来の消防士、地域防災の担い手になることを期待して、職員と中・高校生が一緒になって訓練を実施しました。

中学生のコメント

消防署で今回体験したことは、初めての事ばかりで大変でした。特に空気ポンペを持ったときは思った以上に重く感じました。



中学生のコメント

今回、教えてもらった事を普段の生活に生かしていきたいです。消防署での職場体験は、普通の人にはできないことばかりで、とてもよい経験をさせてもらいました。見ただけだと出来そうなことも実際やってみると難しく、消防士さんは大変なんだということも、改めて感じました。



第63回 島根県消防大会

8月6日(土)「第63回島根県消防大会」が浜田市民会館において開催され、下記の3団体が避難訓練や防火・救急法講習会など日頃の積極的な活動を認められ、島根県知事表彰を受賞されました。

- 【幼年消防クラブ】 吉田保育所幼年消防クラブ（吉田町）
- 【少年消防クラブ】 阿井小学校子ども消防クラブ（奥出雲町）
- 【女性防火クラブ】 東谷北女性防火クラブ（加茂町）



県知事から表彰を受ける 阿井小学校子ども消防クラブ



受賞されたみなさん

もしもの時の応急手当 ～知っておこう 出血・骨折・捻挫の応急手当～

スポーツの秋がやってきました。多くの学校や地域では、様々なスポーツ大会が催されます。普段、運動をしていなくても、この時ばかりはと張り切って参加する人も多いでしょう。ところが、この時期は運動中の怪我により救急車で搬送される人が多いのです。そこで今回は、出血や骨折、捻挫した時の応急手当を紹介します。

出血をしたとき

むやみに動かさず、出血がある場合は汚れを流水で洗い流して清潔な布で圧迫止血をしてください。

骨折をしたとき

骨折した部分に副木をして固定し、至急整形外科を受診します。（副木となるものは、雑誌・鉛筆・定規・ダンボール・ペットボトルなど）幼児の場合、症状を訴えることができないことがあるので、骨折の可能性のあるときは、大人と同様の処置をして大至急整形外科へ。

捻挫をしたとき

捻挫の直後はとにかく患部を冷やして内出血をおさえ痛みを和らげます。冷却でいちばん効果的なのは、氷水で冷やす方法です。ただ長時間冷やし続けると凍傷にかかる恐れがあるので、20分間ほど冷やしたら、1時間は間隔をあけて痛みが消えるまで繰り返すようにします。捻挫はクセになることも多いので、医師の診察を受けることをお勧めします。



冷却処置